

気象台におられる多くの方々に御協力いただいたことを感謝いたします。

文 献

Geotis, S.G. and R.E. Orville, 1984 : Simultaneous observations of lightning ground strokes and radar reflectivity patterns, 22th Radar Met. Conf. 57-58.

飯塚利雄, 中田英実, 1973 : 小松地域冬季の雷探知に関する考察, 防衛庁技術研究本部技報, 25, 1-13.

Magono, C., 1980 : Thunderstorms, Developments in Atmospheric Science 12, Elsevier Scientific Publishing Company, pp.78.

Marshall, J.S. and S. Radhakant, 1978 : Radar precipitation maps as lightning indicators, J. Appl. Meteor, 17, 206-212.

Reynolds, S.E. and M. Brook, 1956 : Correlation of the initial electric field and the radar echo in thunderclouds, Journ. Met., 13, 376-380.

Saunders, W.E., 1966 : Tests of thunderstorm forecasting techniques, Bull. A.M.S., 95, 204-210.

Tosha, M. and I. Ichimura, 1961 : Studies on shower and thunderstorm by radar, Pap. Met. Geophys., 12, 18-29.

Workman, E.J. and S.E. Reynolds, 1949 : Electrical activity as related to thunderstorm cell growth, Bull. A.M.S., 30, 142-144.

NEWS

世界の異常天候とその影響評価 (29)

(Climate Impact Assessment, July, 1986, NOAA/NESDIS)

1. 合衆国・南東部——早ばつ

高温と乾燥による苛酷な干ばつが継続し、農作物への被害と給水能力の減少をもたらしている。8カ月にわたる全農作物の被害は20億ドルと報告されている。早ばつはメリーランド、バージニア、ノースカロライナ、サウスカロライナ、ジョージア、テネシーの各州で最もひどい。7月末になって、冷氣と散発的な豪雨を伴った雷雨があり、多少救いにはなったが、より一層の降雨を必要とする。この地域での今年上半期の早ばつは少なくとも111年来のものであり、熱波による死者は100名を越えるといわれている。

2. セネガル——乾燥

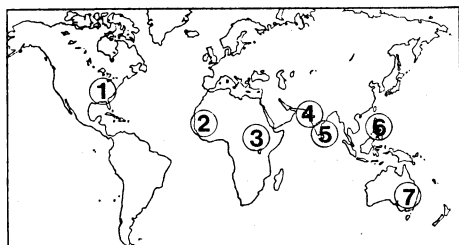
7月の苛酷な乾燥により、穀物と落花生の収穫可能量は大幅に減少した。

3. スーダン南部・エチオピア西部——乾燥

スーダン南部とエチオピア西部の4～5月の乾燥により、早い時期に植付けられた主要農作物は大幅な減収となった。6月と7月の大雨で農作物の成育条件は好転したが、損害の大多数は回復不能である。天候問題を除いても、スーダン南部では軍事衝突のため主要食糧の不足に直面している。

4. インド・パキスタン——乾燥

7月の乾燥天候により、パキスタンとインド西部の雨を必要とする農作物に損害があった。



5. スリランカ——乾燥

7月もまた乾燥した天候が続きヤラ期*の稲の収穫は減少した。

6. フィリピン——台風

台風 Peggy (台風7号) は7月8～9日にルソン島を襲い、多くの被害が発生した。西海岸沿岸での600～700mmの雨で、多くの地滑りが発生し、少なくとも62名の死者が出た。

7. オーストラリア——早ばつの解消

沿岸地域を除き、7月の平年を上回る降雨は南東部の早ばつを救済した。クイーンズランド州南東部とニューサウスウェールズ州の小麦を救済するに必要な土壌水分がもたらされた。(8月初旬の豪雨で海岸沿いの早ばつも終了した)

注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している。

* ヤラ期：前号参照

(気候変動対策室 重原好次)